

## 安心カードに関するアンケート調査結果

【調査対象】若葉区民生委員児童委員協議会（全13地区）

【実施期間】令和6年2月1日～令和6年2月15日

**<質問1> 配付者の状況は？（民生委員以外でも配付しているか）**

<回答> ・加曾利地区では10年前は独自で作成し自治会で配布していた

- ・自治会・支えあいの会で配布している地区あり
- ・御成3丁目・千城台西はカプセルを希望者に配布
- ・26地区部会（ローズタウン）は独自のものを配布

- ➔ 大半の地区では民生委員のみが配布している
- ➔ 一部の地区では町内自治会で配布。また独自の様式を使用している自治会あり

**<質問2> 配付対象者は？（主に75歳のひとり暮らしが対象）**

<回答> ・75歳以上はすべてに配付 ・高齢者夫婦にも配付 ・日中の独居も配付

- ・独居以外も必要と思われる世帯にも配布 ・要介護者等希望者に配布

- ➔ 75歳以上のひとり暮らし高齢者に限定せず必要性に応じて柔軟に配布している地区が多い（高齢者夫婦、日中独居者、重介護者、希望者等）

**<質問3> 配付状況は？（割合等）**

<回答> ・90%（3地区） ・80%（2地区） ・70%（1地区）

- ・60%（1地区） ・50%（1地区） ・カウントしていない（5地区）

- ➔ 対象者には随時配付を実施しており、50%～90%の配布率
- ➔ 対象者数の分母が明確でないため、正確な配布率の確認は難しい

**<質問4> 毎年の配布枚数は？**

<回答> ・年間約15件～約150件

- ➔ 以前からの配布している地区は、毎年、新規対象者のみのため件数は少な目となる

### <質問5> 住民の認知度は？

- <回答> ・ 配付対象外の人は知らないと思われる
- ・ 社協だよりの掲載を見てある程度、広まっている様子
  - ・ 自治会ニュースで回覧。ある程度認知されている
  - ・ 声掛けをしても不要、個人情報等の懸念、記入が面倒と言われ断られるケース有る
- ➔ 配布対象者以外の住民は認知していないと思われる
- ➔ 社協だよりや自治会ニュースで周知・回覧している地区もある
- ➔ 声掛けをしても断られるケースがある

### <質問6> 実際に役立った事例等があれば教えてください？

- <回答> ・ 老夫婦の妻が転倒し骨折した際に救急隊にカード提示
- ・ 救急搬送時、救急隊がカード確認し役立った
  - ・ 独居高齢者が自宅で体調不良。隣人が救急手配&救急隊が確認
  - ・ 警察は知らないようである。警察に周知してほしい
  - ・ 民生委員には情報が伝わらず不明
- ➔ 役立った事例はあるが、民生委員に結果が伝わっていないケースが多いと思われる

### <質問7> その他・意見等があれば教えてください？

- <回答> ・ 5月からの高齢者実態調査と同時に配布・説明できるとよい。調査実施前にカードが欲しい。また、実態調査票に記載欄が追加されると良い
- ・ 75歳を引き下げても良く、実際必要な人もいる。高齢者実態調査対象外のため、確認が難しい。また、対象者も増え対応が出来るか心配
  - ・ 記入は本人のため、記入したかの確認ができない。また記入内容を民生委員が把握できず、家の中に入らないとカードが見れないため用途が限られる。
  - ・ カードの記載内容が変更になった際、書き換えや更新が必要。自治会にある同様のカードとの整合性も気になる。
  - ・ 高齢者世帯に回覧等で周知したい。救急隊や警察へ周知しているか知りたい
- ➔ 5月に民生委員が実施する高齢者実態調査(75歳以上対象)と連携すると効率が良い
- ➔ 75歳以下に引き下げ案もあるが、対象が多くなり、人員やカード枚数等が追いつかない
- ➔ カードは自宅内に保管され、自宅内に入らないと情報が見れず用途が限られる
- ➔ 自治会独自で作成しているカード整合性の可否について検討が必要
- ➔ 高齢者世帯等に広く周知したい。また、警察や消防局にも再確認・再周知の必要あり